

第154回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年9月30日（金）16:00～16:12
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

資料1、5ページをお願いいたします。

昨日（29日）の新規陽性者数は533人です。

概ね減少傾向にありますが、今週の前半には前の週を上回る日もございました。

次に、4ページ。

9月29日現在の療養者の状況です。

入院者は171人、うち重症者が0人となっています。

宿泊療養施設入所者数は136人となっております。

なお、発生届の全数届出見直しによりまして、自宅療養者数は算出不能となっており、今回から記載を削除しております。

病床等の状況についてですが、一部の医療機関において、臨時的に病床を拡充しておりましたが、現在の病床使用率を踏まえ臨時措置を終了いたします。

また、一部の医療機関で妊婦や小児用の病床を増やしました。

これによりまして、記載のとおり10月1日から、即応病床数は757床から755床、通常時最大の確保病床数は761床から759床となります。

なお、緊急時の確保病床数は、8床増の831床となります。

次に、6ページ。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、241.39人。

8月23日にこれまで最多となって以降、概ね減少傾向にあり、200人台となっております。

次に、8ページ。

病床使用率は22.5%。9月22日以降、30%を下回っております。

なお、これまで報告してきました「人口10万人当たりの療養者数」、「各市ごとの1週

間の新規陽性者数」は、全数届出見直しによりまして、算出不能となりましたので、資料から除いております。

次に、11ページ。モニタリング指標です。

「人口10万人当たりの新規陽性者数」（241.39人）が、レベル3、

「病床の使用率」（22.5%）がレベル2、

「重症者用の病床使用率」（0.0%）が、レベル1となっております。

全数届出の見直しによりまして、「入院率」、「人口10万人当たりの療養者数」、「PCR陽性率」については、今回から算出不能となっております。

なお、9月26日から全国一律で全数届出の見直しが行われたところでございます。

見直し後の本県の状況について御報告いたします。

これまでのところ混乱なく対応できております。

医療機関においては、発生届の入力事務作業が大幅に削減されたほか、保健所でも疫学調査の対象を重点化し、重症化リスクの高い陽性者の対応に専念できる体制となっております。

届出の有無に関わらず、体調悪化時の相談や宿泊療養・食料の配達など必要な支援を継続しております。

（2）新型コロナワクチンの接種状況等について

（病院局長）

13ページ、資料3をご覧ください。

【資料3】

接種実績につきましては、9月28日時点で、3回目接種の回数が、

1,330,598回、全人口に対する接種率は72.3%となっております。

高齢者や医療従事者等を対象とする4回目接種の回数は、594,599回、接種率については、資料中段の囲みの部分ですが、4回目接種対象者のうち人数の把握が可能な60歳以上の方で、9月末累計の対象者約63万5千人を母数とした場合、81.8%となっております。

次に、資料上段右側ですが、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が43.2%、2回目が41.1%となっております。なお、9月6日から追加接種が開始され、3回目

接種回数は961回となっております。

次ページをお願いします。

本日、この資料のとおり新聞広報を行いました。オミクロン株対応ワクチンの接種につきましては、県内各市町村で順次開始されておりますので、ぜひ接種を御検討ください。

また、小児接種につきましても、3回目接種が受けられるようになりました。初回接種、3回目接種ともに努力義務が適用されておりますので、積極的に接種を御検討いただければと思います。

次ページをお願いします。

オミクロン株対応ワクチンの接種対象は初回接種を完了している方となります。10月は4市において大規模接種を行っておりますので、初回接種がお済みでない方はぜひ御予約をお願いいたします。

次に、資料はございませんが、ワクチン接種を巡る国の動きについて御報告いたします。

厚生労働省は、10月5日に開催される薬事・食品衛生審議会 医薬品第二部会において、オミクロン株「BA.5」に対応した改良ワクチン 及び 生後6ヶ月から4歳のいわゆる乳幼児向けのワクチンについて、使用を認めるか議論すると発表いたしました。

県といたしましては、引き続き情報収集等に努めるとともに、市町村と連携して新型コロナワクチンの接種促進に取り組んでまいります。

(仲村准教授)

9月下旬に入り、感染者数は全国的にも減少傾向となっております。

これは良い傾向ではありますが、一方で、高齢者や基礎疾患を持っている方の感染による入院も続いています。

新型コロナによる肺炎そのものというよりも、合併症で入院が長期化しており、また後遺症に悩んでいる方も多く見られます。

こういったことを考えますと、まだ社会として感染対策を緩める段階にはないと考えます。

県民の皆様には引き続きマスクの着用、密を避ける、行動時の体調確認など基本的な感染対策の継続をお願いしたいと思います。

(知事)

はじめに、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様

に、心から感謝を申し上げます。

そして、県民の皆様、事業者の皆様においては、日々の様々な場面において、感染拡大防止に御理解、御協力を頂いております。ありがとうございます。

全国では、8月下旬以降、新規陽性者数が減少傾向にあります。減少のスピードが鈍化しています。

本県においても、新規陽性者数が1,000人を下回る日が続いています。前の週の同じ曜日を上回る日もあるなど、下げ止まりの傾向も見られ、いまだ予断を許さない状況が続いています。

このため、県民の皆様には、引き続き、感染対策に努めていただきますようお願いいたします。

まず、全数届出の見直し後における感染対策についてです。

今週26日から、全国一律に発生届出の対象者が限定されましたが、感染対策はこれまでと同様です。

陽性者となった場合は、保健所への届出の対象か否かに関わらず、全ての方に外出の自粛をお願いします。濃厚接触者の方は、原則、自宅で待機してください。

また、自己検査や薬局等での無料検査で陽性となった方のうち、重症化リスクが低く、軽症である場合は、医療機関を受診せずに陽性者として登録できる「福島県陽性者登録センター」を御活用ください。

次に、秋のイベントでの感染対策です。

明日から10月となります。地域のお祭りや行楽でお出かけになる機会も多くなると思います。いつもと違う行動をとることにより、感染リスクも高まりますので、特に次の3点について、気を付けてください。

1つ目は、普段会わない人と会う機会が多くなりますので、「体調が悪い時は人と会わない」、「マスクを正しく着用する」、「人と人との距離を確保する」などの対策をお願いします。

2つ目は、飲食時は感染リスクが高まりますので、「短時間で行う」、「距離を取る」、「会話時はマスクを着用する」などの対策をお願いします。

3つ目は、お祭りやイベントの前後における感染対策です。主催者や参加者が、事前準備や反省会等で集まる際にも感染リスクが高まりますので、しっかり感染対策をとって

ただくようお願いします。

加えて、ワクチン接種がお済みでない方は、御自身や大切な方を感染から守り、感染拡大を防止するためにも、速やかな接種をお願いします。

現在、県内も含め、全国的に新規陽性者数の減少が緩やかになっています。

第7波の収束を早期に実現するためにも、お一人お一人が警戒を緩めることなく、様々な場面で「基本対策」に取り組んでいただくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。